

SHOW "No Action No-result"



年末は家に現金が比較的 多く保管されている時期です 泥棒たちもそれを狙っています

忘年会、クリスマス（プレゼント）、年始のお年玉の用意など、電子マネーの利用が増え、逆に現金決済が減少している時代ですが、それでも12月はお家やお手元に現金を置いておく機会が多い季節です。そうした時期であることを改めて認識し、犯罪に巻き込まれぬよう警戒しましょう。その対策を以下に案内しますので、防犯対策の参考としてください。

* * * * *

空き巣や不審者徘徊の対策として、最近は「防犯カメラ」を設置する町内組織が増えています。いわゆる「街中の観える化推進」により、人的な防犯活動の負担を少なくして犯罪の発生を防ぐ役割が高く非常に効果的ですが、住民による財政負担もそれなりに発生します。

出来るだけ費用をかけなくても、日頃の地道な取り組みで犯罪は容易に防げますので、地域住民の多くの方の防犯に対する意識向上を計りましょう。本紙面では、日頃からの「我が街の防犯対策」につき幾つか代表的な内容を列挙しますので、参考にしてください。



泥棒の特徴的行動

- ◆ スーツ姿でセールスマンを装い怪しまれないようにしている事例が全国各地で報告されています。仮にスーツ姿で足元が運動靴やスニーカーといった、ややアンバランスと思われる服装の人物を見かけたら、注意しましょう。
- ◆ 見慣れない車両（商用車に見えない車、レンタカーなど）が停車していたら注意しましょう。→不審車を見かけたら。躊躇せず警察へ110番通報しましょう。
- ◆ 車両を利用することで足がつきやすいため、最近は近所のコンビニやパチンコ店

などで無施錠の自転車を盗み、それを下見に利用しているケースもあります。

- ◆ わざと玄関の呼び鈴を鳴らし、その家がどの時間帯で不在かを確認しています。
- ◆ 番犬に何度か餌を与えて警戒心を緩ませ、家屋侵入実行の際はその番犬に毒物や睡眠剤入りの餌を与える卑劣な手口も報告されています。



- ◆ 庭木に覆われている建物は、外部から内部の様子が見難く、泥棒にとっては一旦屋内に忍び込めば、外部から異状な中の様子が見られ難い＝空き巣がし易いことになります。

- ◆ 1階は人影がなく2階の窓が開いていれば、2階から10秒程度で侵入可能です。
- ◆ 面格子の窓もプロは2分ほどで留め具を外せますので、容易に侵入できます。
- ◆ 合鍵を入口付近の鉢植えなどに隠す行為も絶対ダメ。泥棒はそのような場所も簡単に見つけ出します。
- ◆ 一階の窓辺に踏み台に使えるような物を置いていると、それを足場に家屋侵入も可能です。
- ◆ 街中で誰にも声を掛けられない＝隣人や地域に関心のある住民が少ない、よって誰にも怪しまれることなく外部からの侵入が容易となります。

私の街の防犯対策について

前述の空き巣の特徴に対し、どのような防犯策を講じることが効果的でしょうか。

- 具体的は二重ロックが最も効果的ですし、窓は割れにくい強化ガラスにすることも有効です。
- ゴミ出し時、近所へのわずかな時間での買い物でも、必ず戸締りは行いましょう。玄関先の秘密の場所への置き鍵も、「それダメーツ」です。
- 足場になりそうな物を窓辺付近に置いておくことも禁物です。また家屋周辺の庭木は定期的に刈り込みを行い、結果として外部から家屋内の様子が部分的にでも見ることができるよう日頃の環境整備に努めましょう。
- 地域の美化運動促進、ごみの収集場所の整理整頓に努めましょう。これにより、泥棒は、この街は住民の公共施設に対する関心度が高く、よって外部侵入者の行動にも敏感であると感じ、必ず警戒します。
- 隣人間の挨拶運動を町ぐるみで積極的に推奨し、実施していきましょう。「おはようございます」、「こんにちは」の一言が街の防犯力を高める一助となります。

**年末年始は家屋に現金を保管する機会の多い季節
泥棒もそれを狙っています！**